

えびな元気にぎわい振興計画 【ダイジェスト版】



趣旨

【基本構想】

◆海老名市を「にぎわいと活気のあるまち」とし、従来の「観光」を包含する「にぎわいづくり」を通して交流人口の増大を図り、これによって市内全体が経済的に潤い、持続的に発展していくよう、その実現のプロセスや施策展開の方向性を明らかにする「えびな元気にぎわい振興基本構想」を策定しました。

【計画】

◆この基本構想を踏まえ、基本構想に掲げられた施策をより具体化したものとして計画を策定します。

計画期間

◆平成28年度～32年度の5か年とし、平成30年度に進捗状況を確認し、見直しを予定。

位置づけ

◆本計画は、「海老名市にぎわい振興条例」第6条に規定する計画となります。

施策等の数

◆23施策・61事業を掲載しています。

◆計画の内容(主要事業抜粋)

基本施策	施策名	主な事業	実施内容
1. 地域資源を発掘し、磨きをかけ、回遊促進 (1) 地域資源の見直しと発掘	①「県」「首都圏」「全国」等、様々なレベルでオンリーワン性・ナンバーワン性を有する資源の発掘と活用【全3事業】	全国・関東・県内レベルで「オンリーワン性」「ナンバーワン性」を有すると考えられる事物・事象に関する「情報」の収集。 <H29～>	「海老名のナンバーワン・オンリーワン探し！大作戦」等と称して、公募により「情報」を収集する。
	②市内で営まれる産業を「にぎわい資質」としても位置づけ、その保全と活用【全3事業】	市内農産物を活用した6次産業化・ブランド化推進 <H28～>	市内の事業者等が連携し、いちご等の農産物を活用した付加価値の高い加工品を開発し、ブランド化を図っていく。
	③にぎわいの振興の視点から農業景観・里地景観・農業と近代的建造物が融合した景観等をロケ地として活用【全3事業】	ロケ地データベース整理と情報発信 <H28～>	市内での撮影実績を基に、市内の「ロケ地」情報を収集し、データベース化するとともに、ホームページ等で情報発信する。
	④市が誇る現代的・先端的建造物・施設の活用【全2事業】	高層階や休憩スペースの一時開放（イベントとして開放） <H28～>	ビルの高層階は、市街地等を眺められるため、企業の理解と協力を得て、こうしたスペースを一時的に開放する。
	⑤「産業観光」の視点から海老名の近代的立地工場や地場産業を活用【全3事業】	企業立地の促進 <H28～>	市内ものづくり系企業に対して、操業環境等に関するニーズ調査や工業系用地を創出するための適地選定に向けた研究をする。
	⑥海老名市の歴史上の偉人・名人の発掘と活用【全3事業】	「海老名歴史散策ガイド」の作成 <H28～>	海老名の歴史・文化を訪ね歩くための冊子を作成し、その中で、郷土の偉人・先人を紹介する。
	⑦大山や富士山の眺望スポットの掘り起しと活用【全3事業】	海老名市景観写真コンテストの開催し、トライアングルカレンダー等で活用 <H29～>	テーマ(大山、富士山、相模川、実りの秋、近代景観等)を定めて毎年開催し、写真を募集し、トライアングルカレンダー等で活用する。

基本施策		施策名	主な事業	実施内容
1. 地域資源を発掘し、磨きをかけ、回遊促進	(2) 地域資源を磨き、その連携を図り、回遊促進	①史実や伝説を生かし、「物語性」を演出【全2事業】	史実や伝説について物語性をもたせて紹介<H28~>	史実や伝説について、物語性をもたせ、わかりやすくガイドブックなどに掲載し、紹介する。
		②史跡について、「往時」を想起できる方策を工夫【全3事業】	往時を想起できる復元図やイメージ等の製作<H30~>	市内の史跡の復元図(イメージ図)等、往時の風景を想像できるツールを製作する。
		③「海老名の名店」の選定【全3事業】	「海老名の名店」の選定・登録<H28~>	店舗・市民からの応募により名店候補リストを作成、市民による投票を実施し、選定委員会により「海老名の名店」を選定する。
		④「海老名の名産品(逸品)」の選定【全5事業】	「海老名の逸品」の選定、登録<H28~>	事業者等からの応募により逸品候補リストを作成、市民による投票を実施し、選定委員会により「海老名の逸品」を選定する。
		⑤個々の地域資源の有機的な連携のため、回遊コースを紹介【全4事業】	「にぎわいコンシェルジュ(案内人)」の育成と活用<H31~>	案内できる人材育成の講習会を行い、「にぎわいコンシェルジュ」として登録し、活用する。
		⑥駅周辺および海老名SAとにぎわいスポットとの結びつけの強化と、交通運輸事業者との連携による回遊交通手段の整備【全2事業】	回遊を促す多様な交通手段の充実<H30~>	鉄道及びバス路線等を案内し、公共交通機関を利用した回遊を促す。駅周辺等にレンタサイクルを設置し、自転車での回遊を促す。
		⑦市内案内誘導システムの整備【全3事業】	観光案内所の整備<H32~>	海老名駅周辺に観光案内所整備し、回遊性を高める。
		⑧新しい案内手段の活用【全3事業】	観光アプリケーションの活用<既存>	掲載情報の拡充や掲載スポットにおける特典の付与などを行い、活用する。
2. 海老名市ならではの訴求イメージを確立するとともに、着実に誘客プロモーション活動を展開する。		①「日帰りで丸一日楽しめるまち」「日帰りで何度も楽しめるまち」「いつ行っても楽しめるまち」といったイメージづくり【全2事業】	ブックカバー広告によるイメージのPR<H28~>	イメージ形成を図るため、書店で配付するブックカバーに広告を掲載し、誘客のプロモーションを行う。
		②インパクトのあるキャッチコピーづくりと、きめ細かな誘客プロモーションの実施【全3事業】	「キャッチコピー」の公募<H28~>	キャッチコピーを公募し、選定し、それを使用したポスター等を作成し、誘客PRする。
		③誘客プロモーションおよび受け入れ対応窓口組織の整備【全1事業】	誘客プロモーションおよび受け入れ対応連携組織の整備・機能強化<H28~>	市において「シティプロモーション」の機能・役割を担う主体組織を構築し、機能を強化する。
		④市民や「にぎわいづくり」関係者の地域資源理解の促進【全1事業】	(市民向け)市ガイドパンフレットの作成<H30~>	市の概要・歴史・自然・産業等をわかりやすく紹介し、地図を掲載した冊子の作成、配布する。
		⑤市民・事業者の「おもてなし心」の醸成【全2事業】	「おもてなしマイスター制度」づくり<H30~>	主にサービス従事者の意識向上を図り、市の魅力を学ぶ研修を行う。
		⑥海老名ファンクラブの組織化【全1事業】	海老名ゆかりの人々の会員組織化に向けた制度設計と実施<H31~>	会員の定義、会員サービス内容と会員の負担等の制度を検討し、実施する。
3. 連携と制度づくり	(1) 産業等との連携	①農業・製造業・商業・交通運輸業の連携及び集客イベントの開催【全3事業】	農業・製造業・商業・交通運輸業等と連携した組織を研究<H28~>	「にぎわいづくり」の活動を目的とする組織(公社等)の設立について、研究する。
	(2) 近隣都市等との連携	①近隣都市等との連携【全3事業】	姉妹都市との連携・交流の推進<既存>	姉妹都市である宮城県白石市及び北海道登別市との取り組みをさらに強化していく。